

会 議 事 録

1 会議名	令和元年度第5回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和2年2月13日（木）午後2時00分から午後4時00分まで
3 開催場所	アオーレ長岡西棟3階市民協働ルーム
4 出席者名	<p>（委員）草間委員 中村委員 並木委員 槇委員 山崎委員</p> <p>（説明のために出席した関係者）</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 和田学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 馬場理事・学部長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 中村企画調査室長 公立大学法人長岡造形大学 白崎企画調査室係長 公立大学法人長岡造形大学 五十嵐企画調査室主任 公立大学法人長岡造形大学 野上財務課長 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課主任</p> <p>（事務局）長岡市地方創生推進部 渡邊部長 長岡市政策企画課 大矢課長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 吉原主任</p>
5 欠席者名	なし
6 議事	（1）委員長の選出及び委員長代理の指名について

	<p>(2) 第2期中期計画(案)について</p> <p>(3) 中期目標期間の業務実績評価(期間評価)実施要領(案)について</p>
7 審議結果の概要	<p>議事(1)では、委員の互選により中村委員が委員長に就任し、山崎委員が委員長代理に就任した。</p> <p>議事(2)及び(3)は、ともに案のとおり承認された。</p>
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>皆様本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和元年度第5回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。</p> <p>それでは、はじめに、渡邊地方創生推進部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
事務局・地方創生推進部長	<p>(渡邊部長挨拶)</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>評価委員につきましては、昨年12月に委嘱期限を迎え、再任をお願いした委員の皆様、新たにお願ひした委員がいらっしゃいます。</p> <p>本日は、評価委員が入れ替わってからの最初の評価委員会ですので、委員の皆様を紹介させていただきます。</p>
事務局・政策企画課課長	<p>(委員紹介)</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、委員5名全員が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学から水流理事長、和田学長、河村副理事長、馬場理事・学部長、久島事務局長ほか5名の事務局職員の皆様から出席いただいております。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>はじめに、(1)委員長の選出及び委員長代理の指名についてです。</p> <p>公立大学法人評価委員会条例第4条第1項の規定により、委員長は委員の互選によって定めることとなっております。</p>

委員	委員の皆様から、立候補、または推薦等ございますでしょうか。
事務局・政策企画課課長補佐	引き続き、ぜひ中村委員にお願いしたいと思います。
事務局・政策企画課課長補佐	皆様、いかがでしょうか。
委員	(異議なし)
事務局・政策企画課課長補佐	それでは、中村委員に、引き続き、委員長をお願いしたいと思います。中村委員長には、委員長席にお移りいただきたいと思います。改めまして中村委員長からごあいさつをお願いしたいと思います。
委員長	(中村委員長コメント)
事務局・政策企画課課長補佐	ありがとうございました。 評価委員会条例第4条第3項の規定により、委員長が委員長代理を指名することになっております。中村委員長、いかがでしょうか。
委員長	前期も願いしておりましたが、山崎委員にぜひお願いをしたいと思 います。
事務局・政策企画課課長補佐	委員長代理に、山崎委員が指名されました。山崎委員長代理からご あいさつをいただきたいと思います。
委員	(山崎委員コメント)
事務局・政策企画課課長補佐	ありがとうございました。 ここからは、進行を委員長にお願いしたいと思います。中村委員長、 お願いいたします。
委員長	それでは、進行を務めさせていただきます。 議事を進める前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めたいと 思います。山崎委員と草間委員のお二人にお願いしたいと考えており ますが、よろしいでしょうか。

<p>委員長</p>	<p>(山崎委員、草間委員 了解)</p> <p>それでは、議事を進めます。 議事(2)第2期中期計画(案)について、はじめに事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画課長</p>	<p>(大矢政策企画課長：資料1を基に中期計画の認可について説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。 それでは、第2期中期計画(案)について大学から説明をお願いします。</p>
<p>長岡造形大学・水流理事長</p>	<p>(第2期中期計画作成の背景、方針について説明)</p>
<p>長岡造形大学・久島事務局長</p>	<p>(資料2～資料5を基に説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>大学から第2期中期計画(案)について、説明していただきました。委員の皆様からご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3(1)教育研究組織の見直しとカリキュラムの改編の所で新学科の創設とありますが、具体的にはどのような学科でしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・和田学長</p>	<p>デザインを基礎とし、テクノロジーを活用することにより、新たな価値を創造するような学科を考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>第2期中期計画の期間内に新しい学科を創設されるのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・和田学長</p>	<p>その通りです。</p>
<p>委員</p>	<p>大学の学生定員は、新設学科の学生分が増加するのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・和田学長</p>	<p>全体数を維持するのか、新設学科分だけ増加させるのか、現在議論を詰めているところです。</p>

委員	以前、学科の新設にはかなり時間がかかると伺いましたが、どれくらい期間を要するのでしょうか。
長岡造形大学・ 和田学長	学科新設は、3、4年の間に実現しなければ時代の流れに対応できないと考えています。
長岡造形大学・ 水流理事長	現在、令和5年度の新設を目指しております。
長岡造形大学・ 和田学長	私学時代から、カリキュラム等はほぼ変えずに来ました。大学は、おおよそ4年間のサイクルで回りますが、8年経つと社会も変わりますので、カリキュラムも変えざるを得ないということです。大きな改革になると思います。
委員	受験生は受験のための対策が必要ですから、早くどのような学科か分かったほうが良いように感じます。
長岡造形大学・ 和田学長	<p>受験生に対しては、2年前くらいに、学科や入学試験の内容を説明する必要があり、さらにその1年前には文部科学省に対して認可の申請をしなければなりません。そういった理由で、3、4年はかかると考えています。</p> <p>以前から検討は始めておりまして、現在は課題になっている部分などを精査している状況です。</p>
委員	新しい学科が増えるだけでなく、既存の学科でも、変更や、あるいはなくなる場合もあるのでしょうか。
長岡造形大学・ 和田学長	あります。
委員長	既に動いているということですが、どのような体制で進めているのでしょうか。
長岡造形大学・ 和田学長	馬場学部長を中心に、その下に委員会を設置するなどしていますが、基本的には全学的に動いています。トップダウンではなく、皆さんの意見を聴きながら進めていきます。

長岡造形大学・ 水流理事長	<p>新学科で扱うデジタルテクノロジーは急速に進化しており、対応は不可避です。これは学内の共通認識となっています。草間委員がおっしゃったように、既存学科の在り方に関する議論も必要です。定員をどうするのか、既存学科の改編をするのか、その詰めの議論をしなければなりません。</p> <p>ただし、ゆっくりはできません。来年度早々、又は半年くらいの間で詰めていきたいと考えています。また、そのアナウンスも早い段階で行いたいと思っています。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>評価委員会では、10月、11月頃に内容がお知らせできればと考えております。</p>
委員	<p>公立で、美術・芸術系の大学は、全国でどれくらいあるのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>美術・芸術系に特化している公立大学は6校です。美術・芸術系学部を持つ総合大学はもっとあります。</p>
委員	<p>そうすると、全国的に見ても、美術、造形に進みたい学生にとって造形大学は魅力ある大学だと思います。学科を新設するということがですが、全国で同様の学科を新設している大学はあるのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>全国でも同様の動きが始まっています。ただし、本格的に進んでいるところはありません。どの大学も、手探りの状態です。</p>
委員	<p>新設されると、全国的にも注目されるものになるのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>(特に注目を集めるものではなく) 当たり前のことといえると思います。学部、学科の大きな改編を予定している大学もありますし、その他の大学でも、従来の視覚デザイン学科の中で内容を変えています。そういった対応は、必ず必要になってきます。</p>
委員	<p>女子学生が多いですが、受験者に女子の割合が多いのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>女子学生が約7割です。</p>

長岡造形大学・ 水流理事長	受験者の割合は男女比 1 : 2 くらいですが、結果をみると 1 : 3 になるなど女子が多くなってきます。
長岡造形大学・ 河村副理事長	志願者と合格者を比較すると、女子の比率がおよそ 10% 多くなります。
長岡造形大学・ 和田学長	<p>全国でも似た傾向があります。女子の比率は多いです。</p> <p>ただ、新学科ができるのと男子の比率も少し増えると思っています。これまでは、絵の制作など形あるもののデザインが好きで美術の世界を選択する女性が多かったのですが、今後のデザインは、サービスや仕掛け、仕組みといったことの比重が大きくなり、ロジカルな思考が求められます。世の中に新しい刺激を与える仕事に就きたい、新しいものを生み出したいという思いがある人がデザインを選択することが増え、男子学生の比率も上がるのではないかと考えています。</p>
委員	公立化して大学のレベルがかなり上がっています。それによって、市内の学生が入学しにくくなっていると思います。
長岡造形大学・ 水流理事長	それは、本学でも心配しているところです。今回の中期計画でも、市内の優先枠拡大を盛り込んでいます。これについては、市、市議会、市民の理解も得ながら進めることになると思います。併せて、市内の高校にもっと積極的な働きかけをし、本学に目を向けていただけるようにしたいと思います。
委員	中期計画の 2 ページ目、入学者受入方針についてですが、これまでの試験方法と違いはあるでしょうか。
長岡造形大学・ 和田学長	国の入試改革などもありますが、本学では私学時代から A0 入試などを実施しているなど、もともと多様な学生を受け入れるための試験を行っており、その基本は変わりません。ただし、試験の名称が変わる可能性はあります。
委員	大学入試では学科試験が必須になるのでしょうか。
長岡造形大学・ 河村副理事長	国は、面接のみでなく学科試験や論文試験を行うなどして、きちんと能力を判断できる試験とすること、一方で、学科試験のみで判断す

<p>委員</p>	<p>るのではなく、総合型（これまでのAO入試）も積極的に取り組むことを求めています。</p> <p>本学のAO試験は、受験者に課題を出し、課題についてプレゼンをしてもらい、さらに面接を行っています。国は、多様な学生を、総合的な判断によって受け入れるようにと言っていますが、本学は以前からそのような意識で取り組んでおり、そういった姿勢が求められる時代になったのだと思っています。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>4ページの、ファカルティ・ディベロップメント活動とは、どういうものでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 馬場理事・学部長</p>	<p>教育の方法を改革していくものです。FDともいいます。</p>
<p>長岡造形大学・ 河村副理事長</p>	<p>学内での研修などによって、教育の水準を上げるための手法です。</p>
<p>委員</p>	<p>FDは教員のみが対象ですが、事務職員を含めたスタッフ全体の質を上げる取り組みはSD（スタッフ・ディベロップメント）といいます。</p>
<p>委員</p>	<p>7ページの人事評価制度はどういうものでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>教員と、事務職員とで分けて行います。教員については仕事が多岐にわたるため、まずは1年間の仕事内容を書き出してもらい、各教員がどのようなことをしているか、お互いにつながる状態にすることからスタートしたいと考えています。その後、評価を行うことについて教職員の合意が得られれば評価につなげていきたいと考えています。</p> <p>1年間試行期間として実施してきており、4月から開始する予定です。教員は、評価されることには抵抗を持っていますが、納得いただき、実施していきたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページの(2)教育環境の整備で、施設整備を行うとありますが、どのような整備を行うのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>デジタル化への対応などがあります。これまでに3Dプリンターやレーザーカッターなどデジタル機器をそろえた施設を大学院向けに整備</p>

<p>委員</p>	<p>しましたが、今後は学科の新設などもあり学部での需要も高まっているため、拡張が必要です。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>市内の入試優先枠は、何人でしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>10人の枠があります。</p>
<p>委員</p>	<p>優先枠の試験は、一般の選抜とは分けているのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 河村副理事長</p>	<p>一般の選抜の中で行っています。現段階では、これまでの10名の枠から20名にすることを検討しています。各試験で優先枠を増やそうと考えています。</p>
<p>長岡造形大学・ 水流理事長</p>	<p>入学試験に合格するには、本学の目指す教育、求める能力、意欲のレベルに達している必要があります。優先枠がうまく機能するためには、市内の高校から意欲ある学生に来てもらうようにするということが必要になります。</p>
<p>委員</p>	<p>地域に愛される大学になるためには市内出身者に多く入ってもらいたいという思いがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>経営の面から言うと、卒業生に、市内に残って就職していただけると良いと思います。卒業生の市内就職率はどれくらいでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>地元に戻ってしまう学生が多く、市内就職率は低いです。</p>
<p>委員</p>	<p>就職率が低いのは、市内の企業の求人が少ないのでしょうか、それとも、長岡に就職しようという学生が少ないのでしょうか。</p>
<p>長岡造形大学・ 河村副理事長</p>	<p>本学の学生は、専門を生かして仕事をしたいという志向が強いです。そのため、そういった仕事があれば、出身地でも長岡でも就職先として選びますが、結果的には首都圏が多くなっています。市内企業と学生のマッチングを行ったり、市内の企業からも、専門を生かせる仕事があるということをもっとアピールしてもらえると良いと思います。</p>

長岡造形大学・ 和田学長	<p>デザインは、造形だけでなく新しい価値の創造を学ぶものですので、いろいろな世界で活躍する機会があるということを学生にも話しています。ですが実際、学生は、クリエイティブな仕事が求められない職場は選びません。企業の方でも、新しいものを生み出す展開を打ち出していただけると良いと思います。</p> <p>一つ今後の可能性を言えば、地方にいても世界的な仕事ができる時代になっているということです。状況は変わっていくのではないかと考えています。</p>
委員	<p>新潟大学では、学生を集めてバスで県内の企業を回り、企業の説明を聞くということを毎年行っています。外からではわからない、会社のことをよく知ることができる機会になります。10年以上されていると思います。</p>
委員	<p>予算の部分ですが、第1期よりも増えるのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 河村副理事長	<p>大きな要因の一つは学生数の増加です。学生が増えると入学金、授業料が増えます。運営費交付金も、単位費用は減っていますが、学生数の増加によって増えます。</p> <p>また、設備投資で、大きな投資には学校法人から引き継いだ承継資金を充てているため、承継資金の支出が増えると、収入額が増えることになります。</p>
長岡造形大学・ 水流理事長	<p>承継資金については、第1期同様、投資的資金に充てていきます。第2期では、新学科に関連する施設の整備と、開学から26年が経過したことで必要になってくる施設の修繕に使用するように承継資金の支出を計画しています。</p>
委員	<p>第2期の計画は、前期より具体的で意欲的になっており、良いと思います。</p>
委員	<p>承継資金財源について、財団だと取り崩していかなければならないという決まりがありますが、大学の場合は異なるのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 河村副理事長	<p>取り崩していく決まりはなく、できるだけ長く残すようにしています。経常収支レベルでは、承継資金を使わないようにしています。</p>

委員長	<p>最後に、私から伺わせていただきます。</p> <p>まず、大学院について、第 2 期ではどのように考えていくのでしょうか。</p> <p>また、2つの柱として、「造形・表現」と「問題発見・解決プロセス」という記述がありますが、具体的な内容を教えていただければと思います。</p> <p>それから、地域連携で、地域の文化にどのように貢献するかということについて、IT 社会に変わっていく中でどう対応するのか、お考えがあれば教えてください。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>大学院は、今年度に定員を充足したところですが、今後は内部進学と、留学生の獲得を図ります。今、大学院は大学間で学生の取り合いになっています。日本人の学生を確保するのは難しいため、日本語学校や、現地を訪れて留学生の受け入れを行っていく必要があります。</p> <p>カリキュラムについては、私学時代のカリキュラムは研究や進路選択において細かい指導を行っていくものでしたが、今は意識の高い学生が多くおり、そういった指導が不要になっていると考えています。意識の高い学生だからこそ、押し付ける教育ではなく、自由な時間が確保され、自発的な活動ができるようなカリキュラムが必要だと考えます。併せて、新学科についても、学部として、デジタル教育をどうしていくかを考えていきます。</p> <p>地域の文化への貢献についてですが、県内の他の国公立大学でも、厳しい経営の中で地域へ出ていくのが難しい状況にあります。文化の創造、発信の場としてどのように対応していくかというのは課題になります。本学では、子どもものづくり大学校、市民工房を用意していますが、さらに、本学に一同が集い、茶道や華道などの文化を体験してもらうことも地域文化への一つの貢献となるのではないかと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>充実した議論になったと思います。では、資料 2 のとおり中期計画を認可するのが適当であるということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、これについて意見書を長岡市長に提出したいと思います。</p>

事務局・政策企画課課長	<p>続いて、議事（３）中期目標期間の業務実績評価（期間評価）実施要領（案）について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>（資料 6 を基に説明）</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>期間評価実施要領（案）について、事務局から説明をしていただきました。</p> <p>委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>（意見等なし）</p>
委員長	<p>それでは、資料 6 のとおり実施要領を決定したいと考えております。委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
委員長	<p>以上で、議事を終了いたします。</p> <p>本日は、大学からも出席いただいております。</p> <p>ここで、今年度で学長を退任される和田学長から一言いただければと思います。</p>
長岡造形大学・和田学長	<p>（和田学長コメント）</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私の進行はここまでとさせていただきます。ご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>中村委員長、ありがとうございました。</p> <p>続いて、3 その他としまして、事務局からご連絡いたします。</p>
事務局・政策企画課課長	<p>令和 2 年度第 1 回の評価委員会は、7 月頃に予定しています。内容は、第 1 期中期目標期間の業務実績と、令和元年度の業務実績についての</p>

<p>事務局・政策企画 課課長補佐</p>	<p>審議になります。 よろしく願いいたします。</p> <p>他に、皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>これで「第5回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。 ありがとうございました。</p>
<p>上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p>	
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料1 第2期中期計画の認可について ○ 資料2 第2期中期計画（案） ○ 資料3 第2期中期計画（案）の特徴 ○ 資料4 第2期中期目標、第2期中期計画（案）対照表 ○ 資料5 第1期中期計画、第2期中期計画（案）対照表 ○ 資料6 中期目標期間の業務実績評価（期間評価）実施要領（案） 	